

# 平成25年度決算認定

平成25年度各会計決算認定は、一般会計ほか11件すべてを原案どおり全員賛成で認定しました。おもな質疑は次のとおりです。

## 質疑

### 借金増だが

### 今後の町政運営は

#### 問

(浅野富男議員)  
町債(借金)が昨年より増えているが、町の人口

### 町債(借金)の年度末現在高

会計名	平成25年度	平成24年度
一般会計	54億7872万円	51億875万円
下水道	17億7348万円	18億1483万円
水道	2億9233万円	3億42万円
合計	75億4453万円	72億2400万円

### おもな基金(貯金)の年度末現在高

基金名	平成25年度	平成24年度
財政調整基金	8億3071万円	9億6332万円
東日本大震災復興(支援)交付金基金	1億5920万円	2億6422万円
ふれあい福祉基金	1億5197万円	1億5197万円

が減る中で今後の町政運営はどうするのか。

#### 町長

歳入と歳出の差額から翌年度に繰り越す金額を引いた実質収支は約3億円の黒字、公債費率、経営比率も改善している。

しかし、役場庁舎や道の駅建設があるため、国県補助金を最大限利用し、負担を残さないように進めたい。

### 家賃滞納者には 厳しい対応を

#### 問

(阿部泰蔵議員)

町営住宅家賃の滞納が1125万円もあり、長期化、高額化している。本人の所得や連帯保証人は確認しているのか。

#### 課長

入居時にそれぞれの所得を調査している。昨年からは滞納解消を

目的に調停や訴訟を実施している。今後は連帯保証人の確認も含め厳しく審査していきたい。

### 地区集会所も

### 避難所としては

#### 問

(村上晴夫議員)

東日本大震災のとき、中央集会所などだけでは避難所が不足した。地区集会所も活用しては。

防災計画の見直しを含め、避難所の検討を進めていきたい。

### デマンドタクシー

### の継続は

#### 問

(村上晴夫議員)

デマンドタクシーは赤字分約800万円を補助金で補てんしている。今後はどうするのか。

#### 課長

高齢者の利用が多く、利用者は1万8720人で前年比1088人増。利用者の満足度もバスに比べて高い。今後も継続すべきと考える。

### 桜植樹の目的と

### 活用方法は

#### 問

(松浦常雄議員)

造林事業費1100万円で光明寺地区と内谷地区に山桜を植えているが、その面積と本数は、

#### 課長

光明寺地区は、荒れた山林の整理と再生を目的に約7割、

430本を植樹。内谷地区は耕作放棄地の山林化を目的に1・89畝、4700本を植樹した。

#### 問

(渡辺勝弘議員)

植樹した山桜の管理とその活用方法は。

#### 課長

光明寺地区は、今後、地元と協議する。内谷地区は、補助事業を利用し、手入れをしたい。

活用方法は、植樹目的が違うため、生育後に検討したい。

### 道路巡視員

### 設置の成果は

#### 問

(渋谷福重議員)

道路施設巡視員報酬187万円の内容と成果は。

#### 課長

道路パトロールと道路の草刈りや側溝の泥上げ、路面の修復など。道路の危険箇所などを発見し、すぐに対応できるようになった。



新築された川内集会所を  
議会で調査

# 決算審査報告

監査委員 佐藤 徳正、佐藤 定男

各会計の決算書が関係法令に準拠しているか、財政運営が適正かを主眼として審査をしました。

その結果、各会計とも黒字であり、計画的な財政執行による収支の均衡と健全な財政運営が行われていました。

また、健全化判断比率、資金不足比率審査は、その算定と基礎となる書類が適正に作成されているかを主眼として実施しました。



審査結果を報告する  
佐藤徳正代表監査委員

その結果、いずれも適正に行われていました。

健全化判断比率は、実質公債費比率、将来負担比率とも前年より下がり、早期健全化基準を下回っているため、良好です。

公営企業の経営状況は、水道事業会計、下水道事業特別会計、土地開発事業特別会計のいずれも資金不足はありません。(抜粋)

## 街路灯LED化の効果は

**問**

(志村良男議員)

国見ニュータウンの街路灯をLEDにして電気料金は改善されたのか。

**建設課長**

LEDの電気料金は年額8万円程度だが、以前のソーラー街路灯

は、老朽化のため修理に年間200万円もかかっていたため、かなり改善された。

## 老朽町営住宅からの転居は可能か

**問**

(阿部泰藏議員)

老朽化した町営住宅の入居者にほかの町営住宅へ転居してもらうことは

できないのか。

**建設課長**

町営住宅は国の補助基準に基づき家賃を算定するため、新しい住宅では家賃が高くなり住みかえは難しい。

## 仮設入居者の町営住宅入居は可能か

**問**

(阿部泰藏議員)

仮設住宅の入居者は町営住宅に転居できないのか。

**建設課長**

希望者はいるが、家賃が負担増となるため入居が進まない。

## 防火水槽と消火栓の設置推進を

**問**

(村上正勝議員)

防火水槽の要望は多いが、設置が進まない。安価な消火栓の設置に変更できるのか。

**住民生活課長**

消火栓の設置費用は安いが水利を考えればすべてを消火栓にはできない。

## 未納者には給水停止も必要では

**問**

(阿部泰藏議員)

水道使用料の未納者には給水停止が効果的である。何か月滞納すると給水停止にするのか。

**上下水道課長**

半年程度の滞納を目安に給水停止を判断している。

## \*有収率低下はなぜか

**問**

(村上晴夫議員)

有収率が前年比が2ポイントも悪化しているが。

**上下水道課長**

統合した旧簡易水道組合の古い給水管の入れ替えが進まないため。

**保健福祉課長**

47世帯に短期保険証を交付している。

**問**

(阿部泰藏議員)

国保税の未納者には保険証の返還を求め、有効期限の短い保険証が発行できるが、該当者は何人いるのか。

※有収率とは  
給水する水量と料金収入があった水量の比率。  
この率が低下すると漏水などが考えられる。

### 健全化判断比率 (%)

区分	25年度(24年度)	早期健全化基準
実質赤字比率※1	赤字なし(〃)	15.00
連結実質赤字比率※2	赤字なし(〃)	20.00
実質公債費比率※3	10.0(11.1)	25.00
将来負担比率※4	77.4(78.3)	350.00

※1 一般会計と公営事業を除く特別会計の赤字割合

※2 公営事業を含む全会計の赤字額の合計割合

※3 収入に対する負債返済の割合

※4 将来支払う見込みの負債割合